

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

30

和歌山公園管理事業（南別館）

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		和歌山公園管理費	
	大事業		和歌山公園管理事業	
	中事業		和歌山公園管理事業（南別館）	

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	和歌山城整備企画課	山路 都子	435-1044
事業実施の根拠法令			関連課				

1 事業内容

(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
事業目的	環境の良い職場で効率よく職務に従事することにより、より一層市民サービスの向上につなげていく。	南別館の維持管理に伴う経費				
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		需用費等の維持管理経費の支出行為@観光物産センター跡地整備事業	需用費等の維持管理経費の支出行為	施設の老朽化に伴う施設修繕や耐震改修などを含めた、庁舎南別館（わかやま歴史館）維持管理の管理運営を行う。	施設の老朽化に伴う施設修繕や耐震改修などを含めた、庁舎南別館（わかやま歴史館）維持管理の管理運営を行う。	施設の老朽化に伴う施設修繕や耐震改修などを含めた、庁舎南別館（わかやま歴史館）維持管理の管理運営を行う。

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	10,713	8,711	10,231	4,810	9,516	8,223	9,459	0	9,459	0
伸び率（%）	△94.2%	△95.3%	△4.5%	△44.8%	△7%	71%	△0.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,326	5,167	6,062	5,982	5,994	6,074	6,074	0	6,074
	正規職員以外	8,121	6,714	3,801	3,756	4,380	4,380	4,380	0	4,380
	小計	13,447	11,881	9,863	9,738	10,374	10,454	10,454	0	10,454
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	8,028	1,537	5,023	406	5,017	358	5,012	0	5,012	0
一般財源（税等）	2,685	7,174	5,208	4,404	4,499	7,865	4,447	0	4,447	0
所要人数（人）	正規職員	0.67	0.65	0.76	0.75	0.76	0.76	0.00	0.76	0.00
	正規職員以外	3.03	3.10	1.95	1.93	2.05	2.05	2.05	0.00	2.05
主な予算内訳	光熱水費（3,906千円）・管理委託料（3,164千円）									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
旧南別館修繕件数		件	目標値					
			実績値	2	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
南別館耐震改修工事進捗率		%	目標値	100	0	0	0	0
			実績値	100	0	0		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	人員配置の最適化を行い、非常勤職員1名を削減してコスト低減を行った。
見直し・改善内容	